



# けやき会通信



## 糖尿病・内分泌内科 新任医師の御紹介

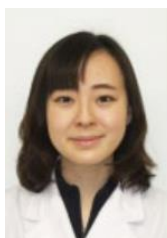


皆様初めまして。4月1日より関東中央病院 糖尿病・内分泌内科で勤務させて頂くこととなりました山根貴裕と申します。この度はご縁があり、関東中央病院で働くことが出来ますこと、歴史ある榊会の皆様のお仲間に入れて頂くことができますことを大変嬉しく、光栄に思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

簡単ではございますが、自己紹介をさせて頂きたく存じます。私は兵庫県出身で、神戸市にある灘中・高等学校を卒業し、地元の神戸大学に進学いたしました。卒業後は東大病院、横浜労災病院で1年ずつ初期研修を行い、内分泌・糖尿病領域を専攻することを決め、以降は横浜労災病院で2年間、東大病院で1年間勤務し、当院へ参りました。横浜労災病院では一般内科診療、糖尿病診療、副腎をはじめとした内分泌診療、東大病院では大学病院ならではの最先端の糖尿病診療を勉強させていただきました。

これまで世田谷区とはあまり縁のない生活を送っておりましたが、今年度より用賀近辺に居を移しました。まだ住み始めたばかりですが、世田谷に流れるのどかな雰囲気心地よさを感じております。当科は昨年度より岡畑部長の新体制となり、今年度よりスタッフも新たに入れ替わっております。フレッシュなメンバーで、より良い診療ができるように少しでも貢献できればと思っております。また、私自身まだまだ勉強中の身ですので、榊会の皆様より様々な事を学ばせていただければと思ひます。

改めまして、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



2022年4月より糖尿病・内分泌内科に入職いたしました滝口美和です。昨年までは東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科で主に内分泌領域の診療および研究に従事しておりました。大学より東京女子医科大学におり、初期研修から後期研修、大学院と母校でお世話になりました。市原淳弘先生を始めご尽力頂いた先生方のおかげで、昨年は内分泌・代謝専門医を取得することができ、今年度大学院も無事卒業予定です。この度、長くお世話になった環境を離れ、関東中央病院の糖尿病・内分泌内科 岡畑純江先生のもとで、さらなる研鑽を積ませていただくことになりました。

大学病院では内分泌疾患を中心に診療してまいりましたが、救急診療の場で関わった患者様が私にとって糖尿病と関わる転機となりました。私のバセドウ病の外来患者様が急激な体調の変化とともに糖尿病性ケトアシドーシスを発症し、救急外来に搬送されてきました。致死率が高く早急な対応を要しましたが、インスリンの投与によって血行動態がダイナミックに改善していくのを目の当たりにし、糖尿病治療の重要性を痛感しました。より専門的より多様な病型の糖尿病を経験したいと考えており、関東中央病院での勤務を大変楽しみにしております。

この度、日本国内でも最大級の規模と歴史を誇る患者会である榊会の一員に加えていただけたご縁を頂き感謝しております。まだまだ駆け出しの医師ですが、今後とも何卒よろしくお願ひいたします。